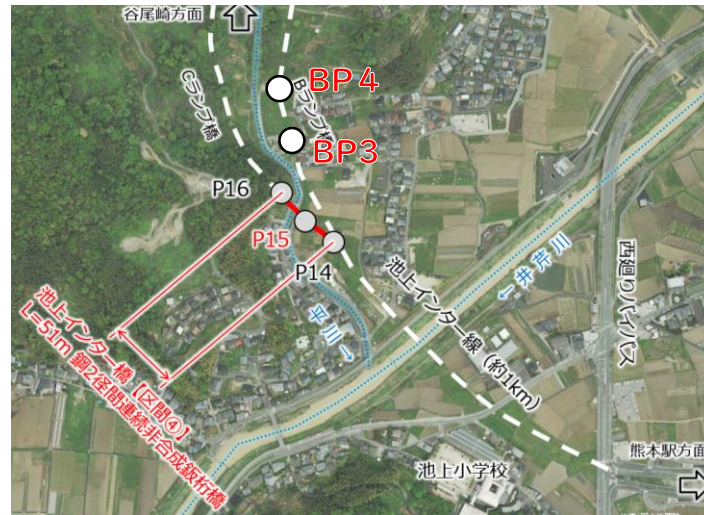


谷尾崎・池上地区の地盤沈下問題について

●池上地区 中間とりまとめ報告（1/21）

- ・北園会長より大西市長に対して池上地区の検討結果の中間とりまとめを報告。



【報告結果】

①P15橋脚工事周辺の地盤沈下

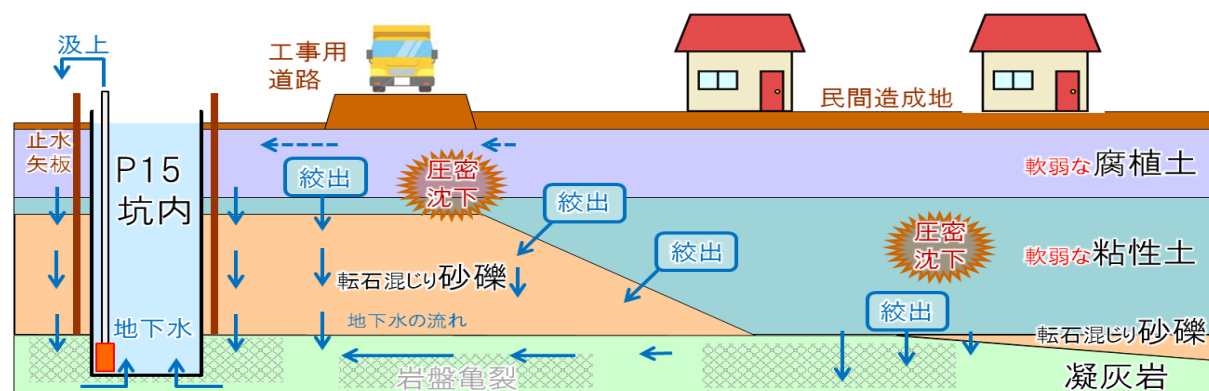
- ・地盤沈下の調査及び解析結果は、妥当である。
- ・池上地区で発生した、宅地についての現状の地盤沈下は、「P15橋脚工事の排水による地下水位低下」が起因している。

②周辺同種工事の施工方針について

- （BP3）・市提案の止水対策工（亀裂注入工等）を実施し、掘削を再開。
- ・施工中の地下水位を監視するため、観測井戸を追加設置。
- （BP4）・試掘を慎重に行い、地下水位及び地質状況を確認すること。
- （共通）・観測井戸で異常な水位変化を確認した場合は、工事を一時中断、委員に報告し、対応について判断を仰ぐこと。

【沈下のメカニズム】

- ・地盤の状況は軟弱な腐植土・粘性土層が厚く堆積し、地下水も高い。
- ・P15工事での地下水汲み上げにより、岩盤（凝灰岩）の亀裂や砂礫層を介し腐植土や軟弱な粘性土に含まれる地下水が絞り出され、圧密沈下した。



【市の対応方針】

- ・被害を受けた住民に対し、説明・補償を行い不安を解消する。

【地元対応】

- ・被害の申し出があっている全4戸に対し、謝罪及び中間とりまとめ内容の説明を行った。具体的な補償は、引き続き丁寧に対応していく。

●第3回 専門家会議（2/26）

会場：熊本城ホール

※審議内容は全て公開



【報告及び審議内容】

○谷尾崎地区

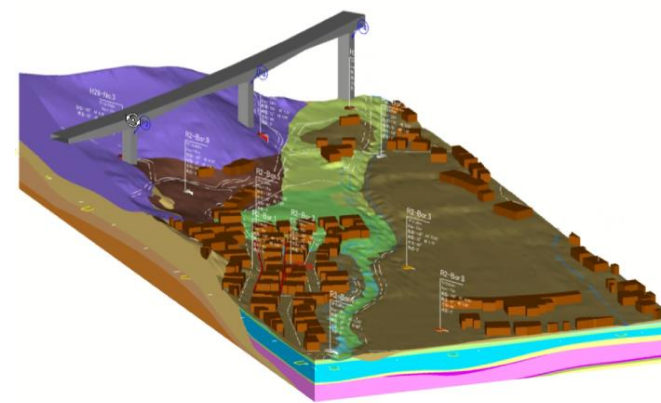
前回会議（12/2）で委員より指示があった内容に関する報告及び審議

- ・地質断面図、3次元地質分布図
- ・土質試験結果

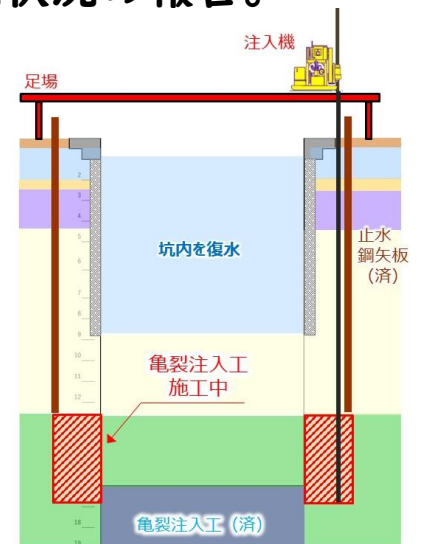
○池上地区

中間とりまとめで示された施工方針に関する実施状況の報告。

- ・現在のところ、湧水及び地下水の異常なし。



<谷尾崎地区 3次元地質分布図>



<池上地区 施工状況>

【委員からの意見】

○谷尾崎地区

- ・工事箇所から沈下箇所まで透水性の高い岩盤の分布が確認できた。
- ・透水性が高く空隙が大きい高有機質土が確認できた。
- ・複雑な地盤の状況が少しずつ明らかになってきた。
- ・（会長より）今回の会議資料を、各委員で持ち帰り個別に確認し、工事との関連性を確認することとする。

○池上地区

- ・岩盤の亀裂への改良剤注入状況については、随時確認すること。
- ・今後、水位低下が懸念される層の掘削に入るため、慎重に施工する事

【今後の予定】

- ・次回会議は3月下旬開催予定。
- ・谷尾崎地区の沈下現象と工事との関係について審議予定。
- ・池上地区のP15橋脚工事の対策工法・工事再開についても審議予定。